

你好！

北京通信

Vol.1



福井商工会議所 主事 出向
(中国日本商会) 藤原 卓也

你好！平成26年6月末より、福井商工会議所から北京市の中国日本商会へ出向している藤原です。

今月から定期的に中国の動向やビジネス情報をお送りいたしますので、ぜひご覧ください。

いざ、中国へ！

私が中国日本商会に赴任したのは、今年度より経済産業省から「新興国市場開拓支援補助金」という予算を日本商工会議所が受託したことがきっかけです。当補助金は、新興国における日系企業のビジネスがより活発化するよう、当該国政府に対して日系企業の意見要望を伝える事業に対し活用できる予算です。私は当補助金の対象となった新興国のうち、中国を担当するため北京市に赴任しました。



大量の排気ガスの影響で
景色がかすんで見える北京市内

「Cブルー」です。しかし、APEC期間が終わって現在では従前の汚染された空気に

思った以上に深刻な大気汚染

さて、まず北京市に赴任して印象的だったのは大気汚染です。工場や自動車の排出ガスが原因で引き起こされる大気汚染は聞きしに勝る深刻さです。平成26年11月に北京市で開催されたAPECの期間中は、政府が工場の稼動と車両運行規制を行ったため大気汚染のない青空の日々が続きました。いわゆる「APEC

増え続ける訪日観光客

戻ってしまいました。大気汚染の原因がわかっているにもかかわらず根本的な解決には至っていないことから、中国政府の環境保護より経済成長を優先する姿勢が垣間見られます。

こういった大気汚染や経済情勢不安などから、昨今では中国を敬遠する傾向が日本人に見受けられますが、打って変わって日本を訪れる中国人観光客は増加傾向にあります。日本政府観光局（JNTO）の発表によると、訪日中国人観光客数は平成25年9月より14カ月連続で毎月の過去最高を記録しています。平成26年10月現在の訪日中国人観光客数は200万人を越え、昨年比約8割の増加となりました。北陸新幹線の開通といった交通インフラ整備とあいまって、福井県への中国人観光客は今後少しずつ増えるのではないかと推察されます。

まだまだ赴任して日が浅く拙い知識ではありますが、今後も私の目で見えた中国の実情を発信していきますのでよろしくお願ひします。再見！

※北京通信は隔月で掲載します。